

Ⅲ. 勤労者等意識調査

調査結果の概要

1. 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりとなっている。
 注) 集計結果については無回答を除く。以降同様。

(1) 就労者・未就労者の割合

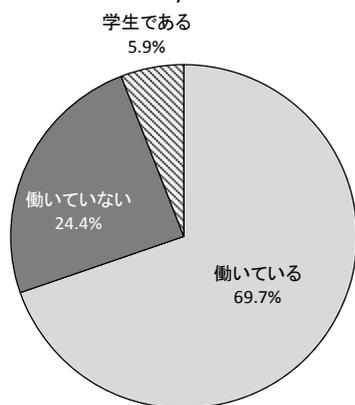
就労者・未就労者の割合は、「働いている」が69.7%で最も多く、次いで「働いていない」(24.4%)、「学生である」(5.9%)の順となっている。

年代別で見ると、〈15～19歳〉で「学生である」の割合が高く、65歳以上は「働いていない」の割合が高くなっている。

性別で見ると、〈男性〉は〈女性〉に比べ、「働いている」の割合が高くなっている。

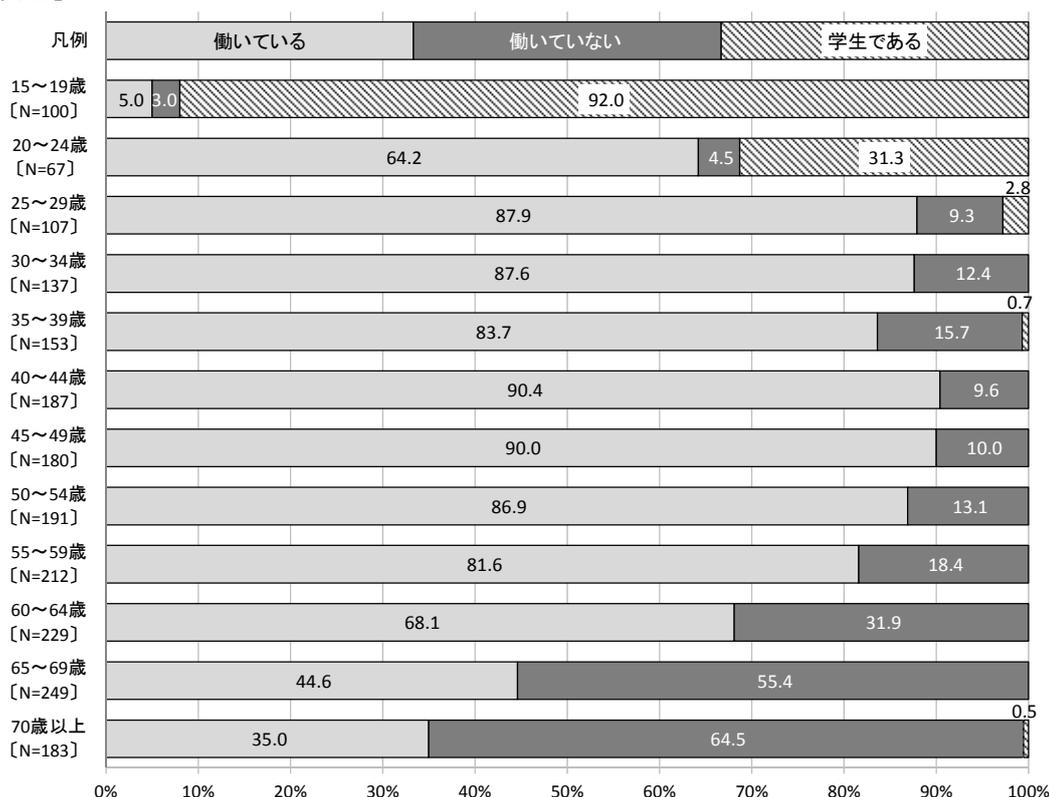
性別・年代別で見ると、〈男性〉では25歳以上59歳以下で「働いている」が9割を超えている。〈女性〉では、25歳以上34歳以下、40歳以上54歳以下で8割を超えているのに対し、35歳以上39歳以下で就労者の割合が低くなっている。

■ 就労状況〔回答数=2,003〕

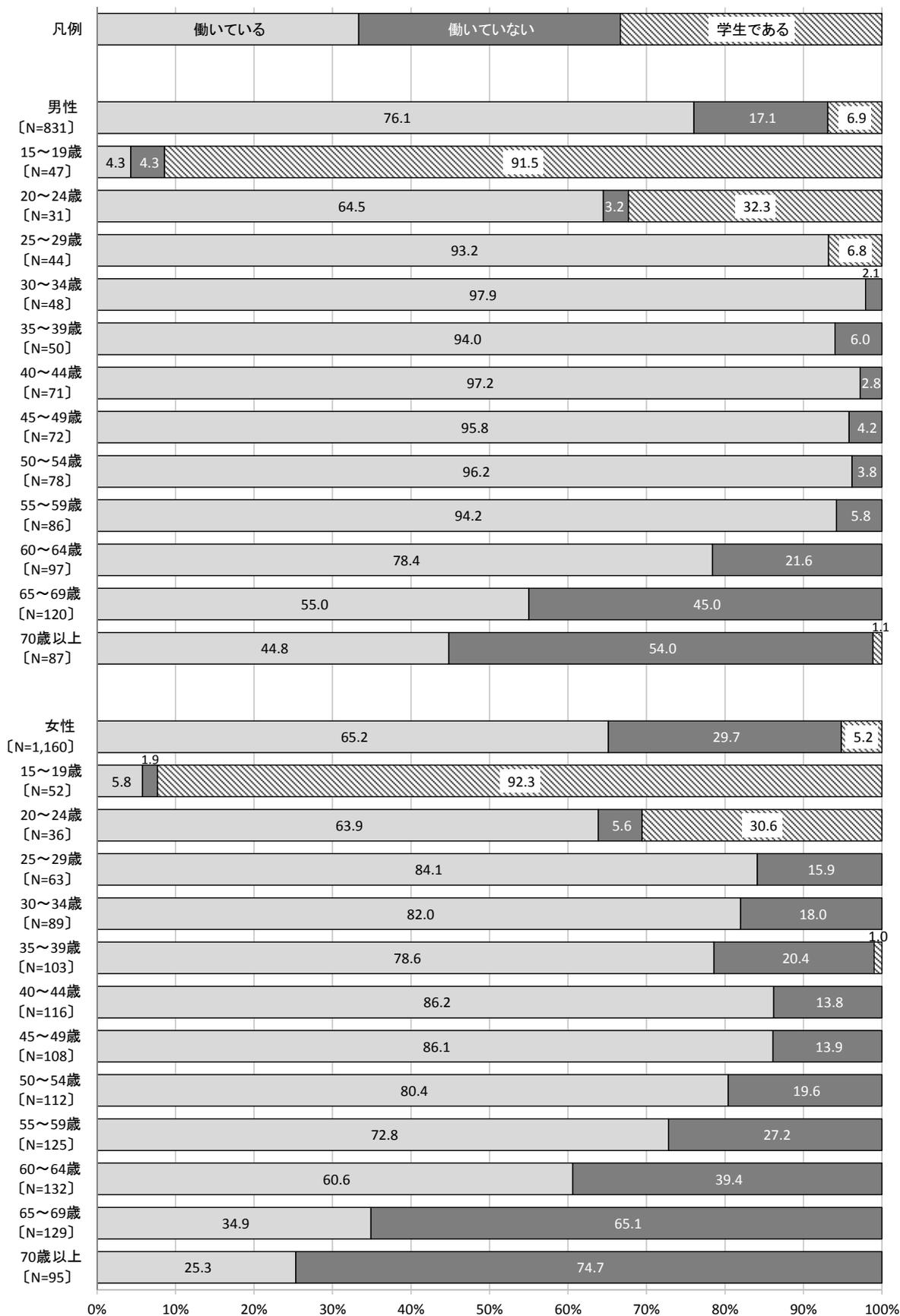


現在の就労状況	件数	無回答を除く構成比[%]
働いている	1,396	69.7
働いていない	489	24.4
学生である	118	5.9
合計	2,003	100.0

【年代別】



【性別・年代別（就労者・未就労者の割合）】



(2) 属性からみる就労状況

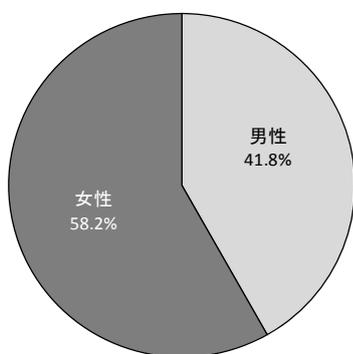
※「働いている」は就労者、「働いていない」・「学生である」は未就労者として分類している。

①性別

回答者の性別については、「男性」が41.8%、「女性」が58.2%となっている。

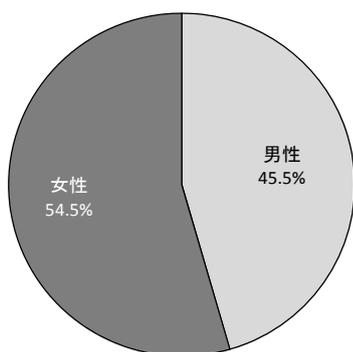
〈就労者〉と〈未就労者〉で比較すると、〈未就労者〉に比べ、〈就労者〉の「男性」の割合が高くなっている。

■性別〔回答数=1,998〕

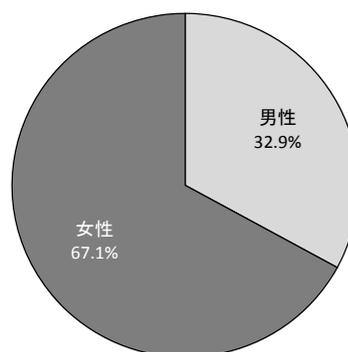


性別	件数	無回答を除く 構成比[%]
男性	835	41.8
女性	1,163	58.2
合計	1,998	100.0

【性別〈就労者〉〔回答数=1,391〕】



【性別〈未就労者〉〔回答数=604〕】

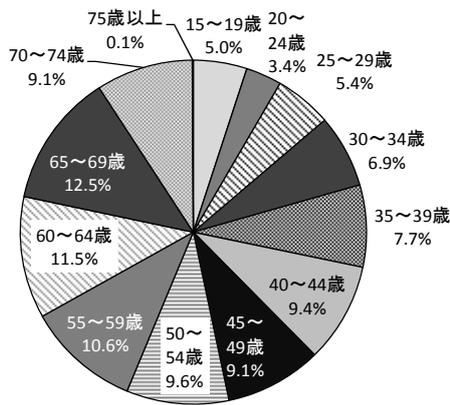


②年齢

回答者の年齢については、「55～59歳」「60～64歳」「65～69歳」で1割を超えている。

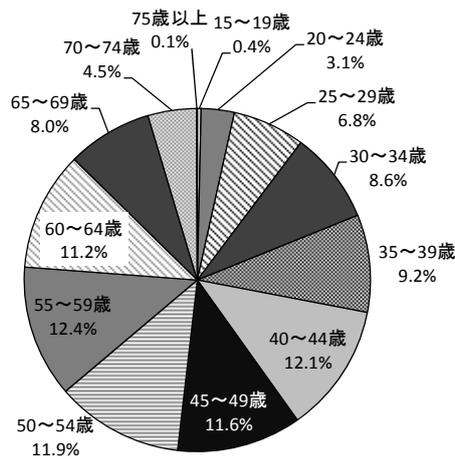
〈就労者〉と〈未就労者〉で比較すると、〈未就労者〉では19歳以下と60歳以上の割合が高くなっている。〈未就労者〉の内、「学生である」は19.5%となっている。

■年齢〔回答数 = 1,998〕

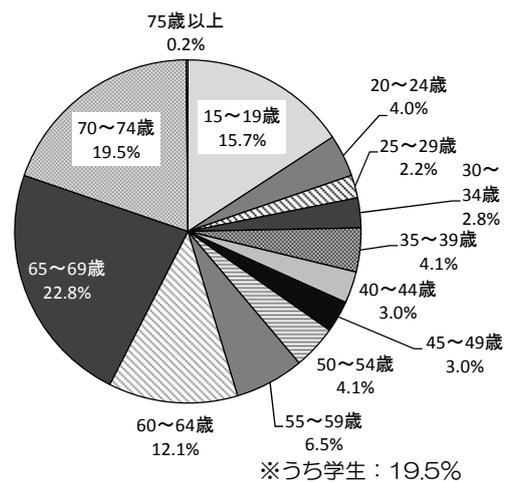


年齢別	件数	無回答を除く構成比[%]
15～19歳	100	5.0
20～24歳	67	3.4
25～29歳	107	5.4
30～34歳	137	6.9
35～39歳	154	7.7
40～44歳	187	9.4
45～49歳	181	9.1
50～54歳	191	9.6
55～59歳	212	10.6
60～64歳	229	11.5
65～69歳	250	12.5
70～74歳	181	9.1
75歳以上	2	0.1
合計	1,998	100.0

【年齢〈就労者〉〔回答数 = 1,391〕】



【年齢〈未就労者〉〔回答数 = 604〕】

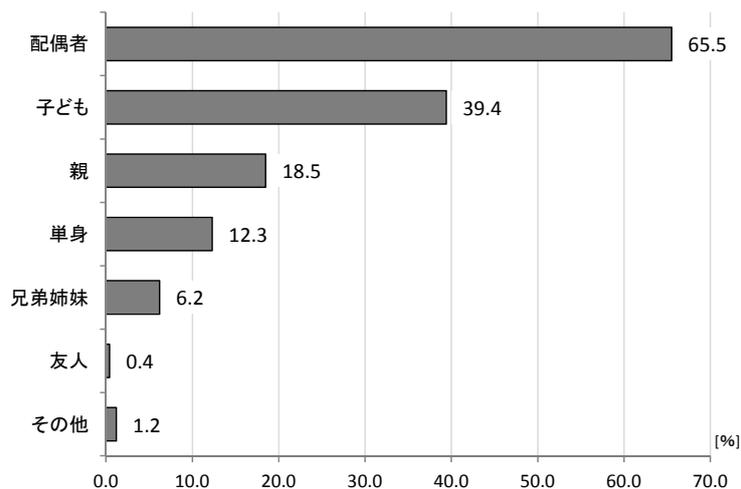


③同居している人

同居している人については、「配偶者」が65.5%と最も高く、次いで「子ども」(39.4%)、「親」(18.5%)の順となっている。

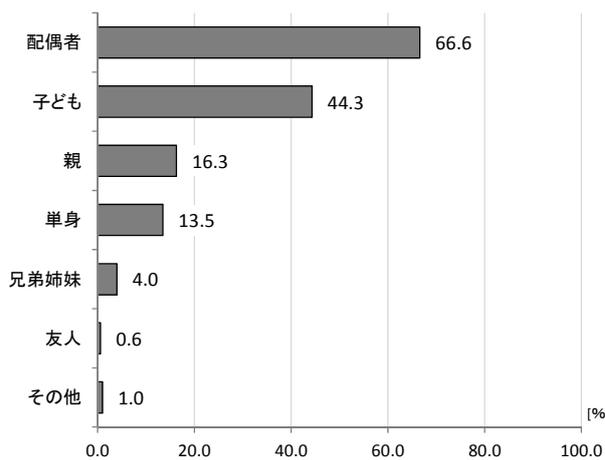
〈就労者〉と〈未就労者〉で比較すると、特に大きな差は見られない。

■同居している人〔回答数=1,997〕



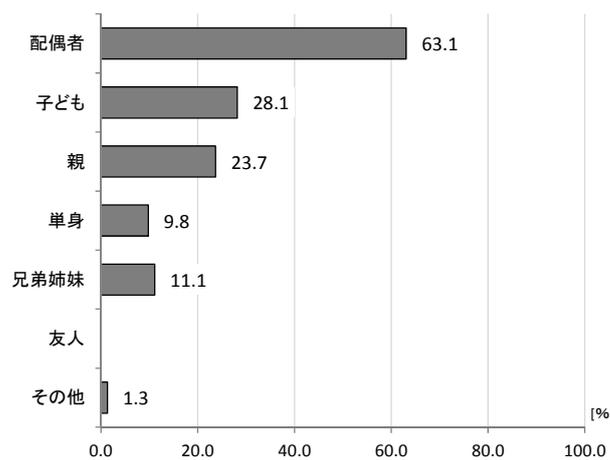
【同居している人〈就労者〉】

〔回答数=1,390〕



【同居している人〈未就労者〉】

〔回答数=604〕



④家庭での主たる生計維持者

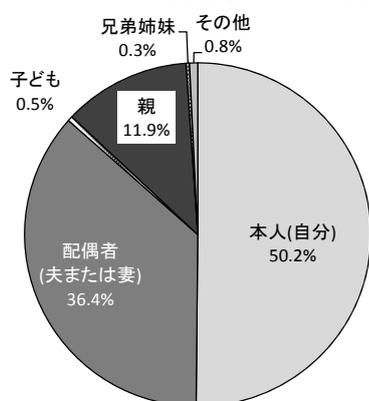
家庭での主たる生計維持者については、「本人（自分）」が 50.2%と最も多く、次いで「配偶者（夫または妻）」(36.4%)、「親」(11.9%)の順となっている。

〈就労者〉と〈未就労者〉で比較すると、〈未就労者〉に比べ、〈就労者〉は「本人（自分）」の割合が高く、約6割を占めている。

性別で見ると、〈男性〉が〈女性〉に比べ、「本人（自分）」の割合が高くなっている。

正規・非正規の別で見ると、〈正規〉は〈非正規〉に比べ、「本人（自分）」の割合が高く、7割を超えている。〈自営業 他〉も同様に「本人（自分）」の割合が高いが、「配偶者（夫または妻）」の割合が〈正規〉に比べ、比較的高くなっている。

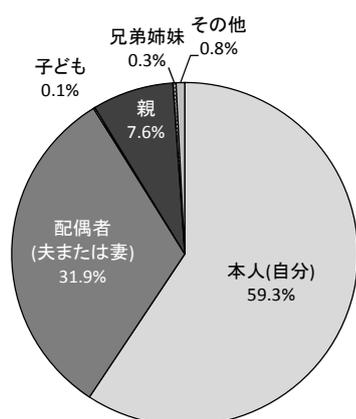
■家庭での主たる生計維持者〔回答数=1,966〕



生計を維持している方	件数	無回答を除く構成比[%]
本人(自分)	986	50.2
配偶者(夫または妻)	716	36.4
子ども	9	0.5
親	234	11.9
兄弟姉妹	6	0.3
その他	15	0.8
合計	1,966	100.0

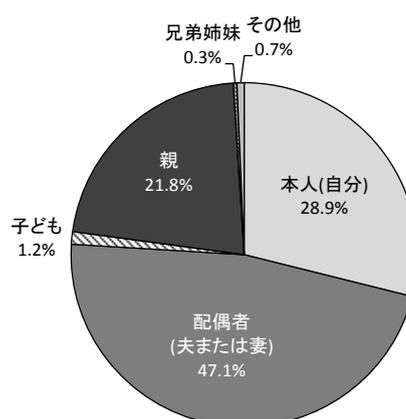
【家庭での主たる生計維持者〈就労者〉】

〔回答数=1,368〕

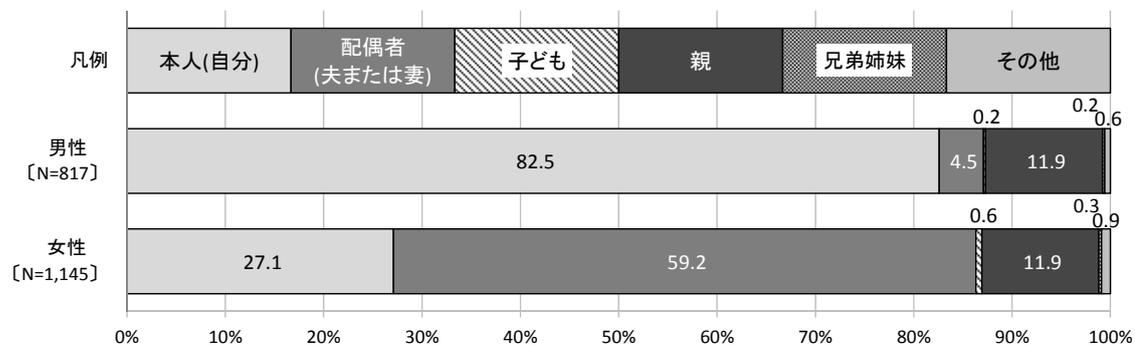


【家庭での主たる生計維持者〈未就労者〉】

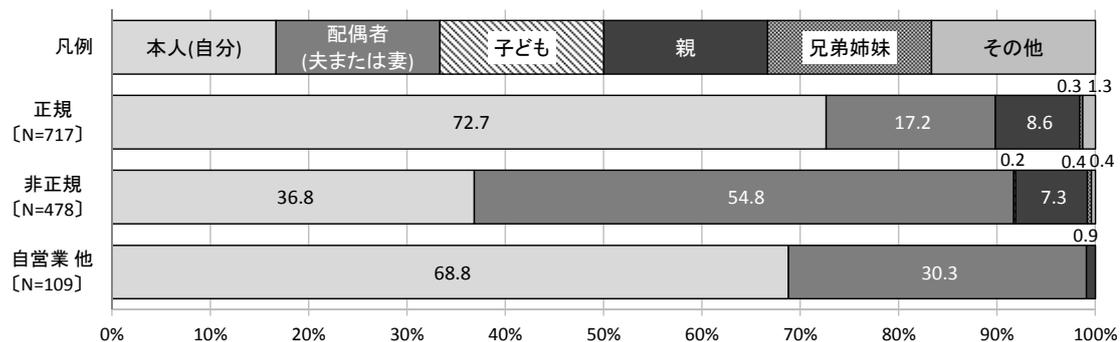
〔回答数=595〕



【性別（家庭での主たる生計維持者）】



【正規・非正規の別（家庭での主たる生計維持者）】



⑤昨年度の年収

昨年度の年収については、「200万円未満」が35.2%と最も多く、次いで「200万円以上400万円未満」(27.1%)、「400万円以上600万円未満」(13.0%)の順となっている。

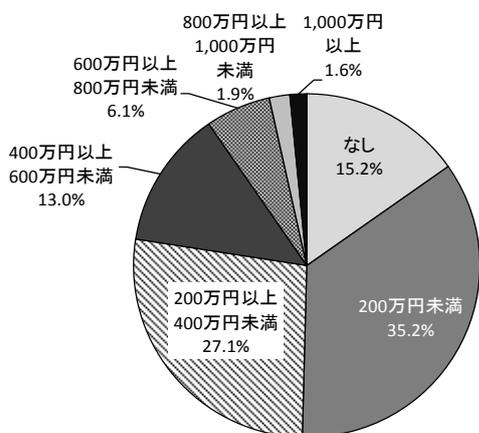
〈就労者〉と〈未就労者〉で比較すると、「200万円未満」の割合に差はみられないが、〈就労者〉で200万円以上のすべての項目の割合が高くなっている。

〈就労者〉における前回調査との比較では、「200万円未満」の割合が6.3ポイント減少している。

〈就労者〉の性別・年代別でみると、〈男性〉では、〈30～34歳〉、〈35～39歳〉で「400万円以上600万円未満」の割合が高くなっており、〈女性〉では、〈20～24歳〉、〈25～29歳〉、〈30～34歳〉、〈35～39歳〉で「200万円以上400万円未満」の割合が高くなっている。

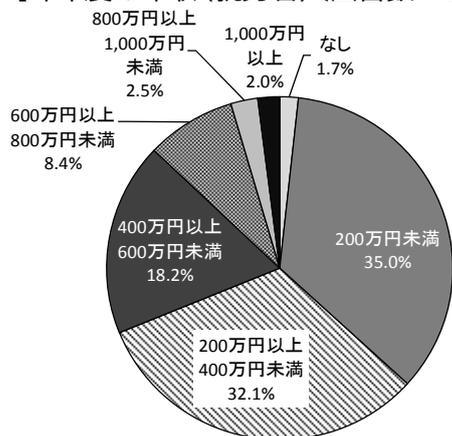
正規・非正規の別でみると、〈非正規〉では「200万円未満」が7割以上を占めている。

■昨年度の年収〔回答数 = 1,984〕

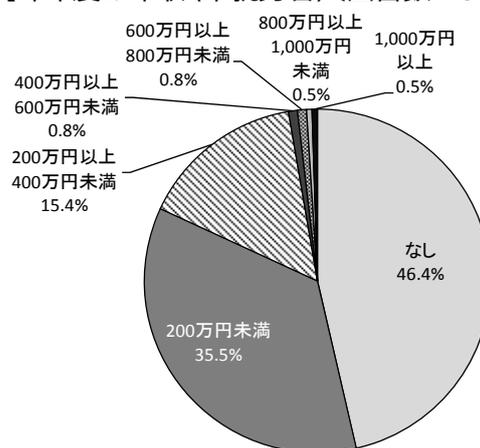


昨年の年収	件数	無回答を除く構成比[%]
なし	302	15.2
200万円未満	698	35.2
200万円以上400万円未満	537	27.1
400万円以上600万円未満	257	13.0
600万円以上800万円未満	121	6.1
800万円以上1,000万円未満	38	1.9
1,000万円以上	31	1.6
合計	1,984	100.0

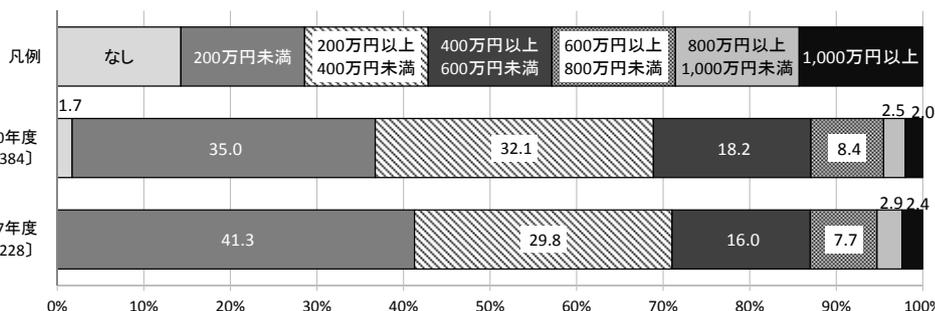
【昨年度の年収〈就労者〉〔回答数 = 1,384〕】



【昨年度の年収〈未就労者〉〔回答数 = 597〕】

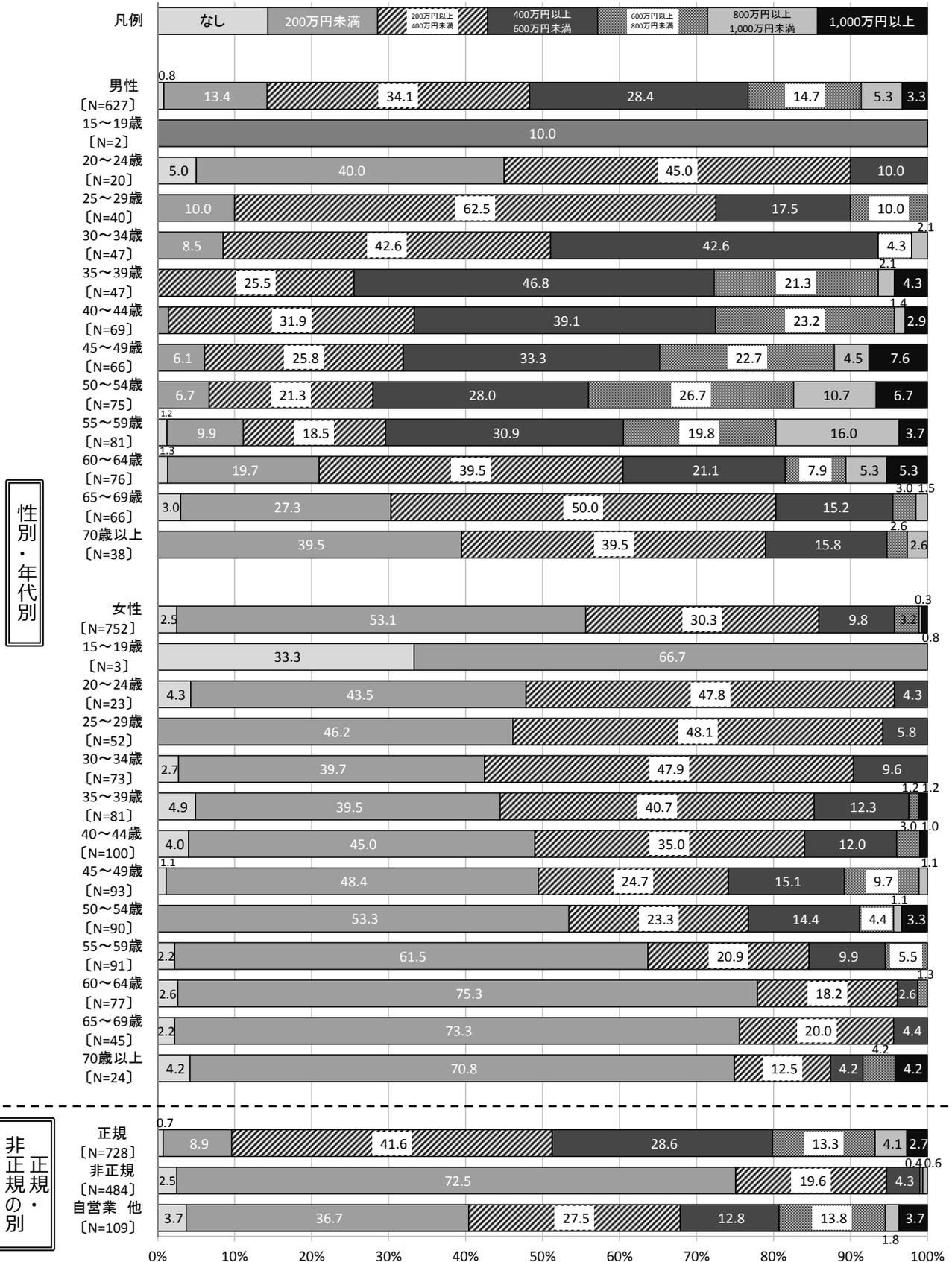


【前回調査との比較〈就労者〉】



※平成30年度に「なし」の区分を追加している

【性別・年代別〈就労者〉／正規・非正規の別（昨年度の年収）】



⑥希望する年収

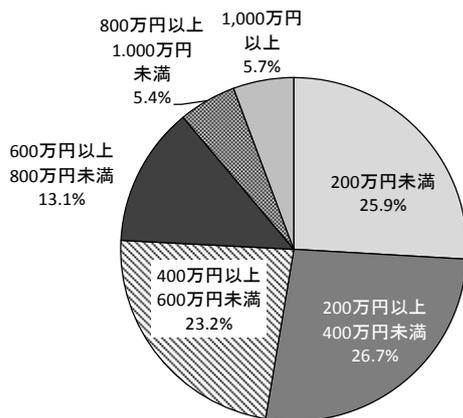
希望する年収については、「200万円以上400万円未満」が26.7%で最も多く、次いで「200万円未満」(25.9%)、「400万円以上600万円未満」(23.2%)の順となっている。

〈就労者〉と〈未就労者〉で比較すると、〈就労者〉に比べ、〈未就労者〉は「200万円未満」の割合が高くなっている。

〈就労者〉の性別で見ると、〈女性〉は「200万円以上400万円未満」の割合が35.6%、「200万円未満」の割合が28.7%と、〈男性〉に比べ、高くなっている。

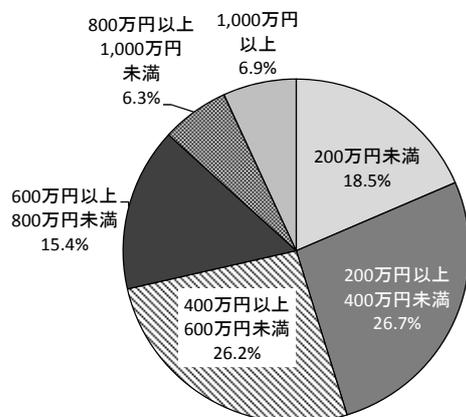
〈就労者〉の性別・年代別で見ると、〈男性〉〈女性〉ともに、〈60～64歳〉以降は「200万円未満」、「200万円以上400万円未満」の割合が高くなっている。また、〈男性〉の〈30～39歳〉で「600万円以上800万円未満」、〈50～59歳〉で「800万円以上1,000万円未満」の割合が比較的高くなっている。

■希望する年収〔回答数=1,891〕

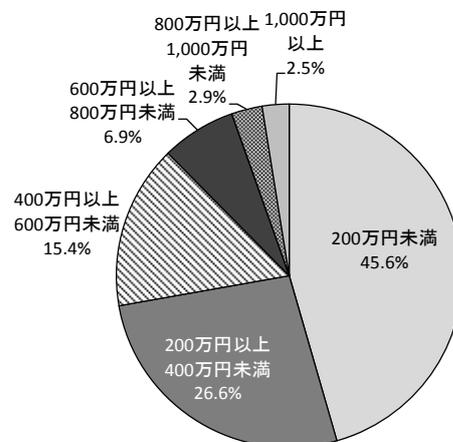


希望する年収	件数	無回答を除く構成比[%]
200万円未満	490	25.9
200万円以上400万円未満	505	26.7
400万円以上600万円未満	439	23.2
600万円以上800万円未満	248	13.1
800万円以上1,000万円未満	102	5.4
1,000万円以上	107	5.7
合計	1,891	100.0

【希望する年収〈就労者〉〔回答数=1,372〕】



【希望する年収〈未就労者〉〔回答数=518〕】



【性別・年代別〈就労者〉（希望する年収）】

